

2016全日本ロードレース選手権第3戦 菅生 MFJ-CUP JP250クラス 参戦報告書

- エントリー名: TRICK STAR Racing
- 監督: 鶴田竜二
- ライダー/ゼッケン: 山本剛大 (#21)
兵藤龍之介(#111)
藤村太磯 (#13)
- 開催日/サーキット: 2016年6月24日(金)~6月25日(土)
: 宮城県 スポーツランドSUGOサーキット
- マシン: カワサキNinja250
- 結果: 山本剛大 予選 1位 レース 優勝
: 兵藤龍之介 予選 2位 レース 4位
: 藤村太磯 予選 19位 レース リタイア

全日本ロードレース選手権併催MFJ-CUP JP250クラスの開催は第2戦九州オートポリス大会の中止を経て、第3戦スポーツランドSUGO大会が開催された。今回のエントリーも予選落ちが出るほど盛況なJP250。各車マシン差も殆ど無く、ライダーのスキルがレース結果を大きく左右し好バトルが予想された。#21山本剛大は事前テストを行わず、24日金曜日に行われた練習走行から走行開始。一方、#111兵藤龍之介・#13藤村太磯は、初めてのSUGOと言う事もあり5月22日に開催されたSUGOロードレース選手権に参戦し、今回のレースに臨んだ。





TRICK STAR

【6月25日(土) 公式予選】

Qualify 9:00~9:25

天候:曇り コース:ウェット

前日に開催されたスポーツ走行1回目にレインコンディションで山本と藤村が転倒していた。しかしスポーツ走行2回目・3回目とコンディションはドライになり、マシンチェックからセッティングの確認を行っていた。予選はウェット路面からスタートしたが、雨は降っておらず徐々に路面が乾いていく難しいコンディション。計測1周目からタイミングモニターのトップに山本剛大が掲示され、兵藤龍之介は2番手。藤村太磯は11番手。その後も毎ラップ1秒以上タイムを更新し、モニターのトップに山本、そして2番手には兵藤の名前が掲示されていた。一度、山本も兵藤もピットインをし、徐々に乾きだした路面にサスペンションセッティングをアジャストして再度コースイン。残り時間も少なく計測は1回しか受けられなかったが、山本は更にタイムを更新しポールポジションを獲得する。兵藤はタイムアップならずとも2番手をキープする。藤村は予選終了間際にタイムアップ出来ず、ライバル達がタイムアップして19番手で終了する。

ここスポーツランドSUGOでも、タイムモニターにトップスピードが掲示される。山本はコンスタントに178Km~181Kmを記録。これはスリップを使わなくても計測されていた。兵藤はスリップを使い予選中の最速182Kmを記録。藤村は176・177Kmとまずまずだが、数台のライバル達と走行しており、理想のラインをトレースできずにタイム・スピード共に伸びなかった。

【6月25日(土) 決勝レース 10ラップ】

Final 14:50~ 10ラップ

天候:曇り コース:ドライ

#21山本剛大、上手くスタートを決め1コーナーをホールショット。#111兵藤もスタートを決め2番手で1コーナーに進入する。一方の#13藤村はスタートに集中し少しでもポジションアップを狙ったが、クラッチミートに少し失敗し中盤に埋もれてしまう。

山本は1周目から積極的に走行し早くも後続を引き離していく。兵藤も2位を走行しながら懸命に山本を追いかけている。藤村は1台でも抜いて前に行こうと焦っているのか何時ものキレが見れない。そして3周目の1コーナーから2コーナーにかけて失敗をしてしまい、3コーナーにスピードをのせて進入できなく他車にインに入られてしまう。そして他車と接触し転倒リタイヤしてしまう。

トップを走行している山本は毎周後続を引き離し独走態勢を築いていく。兵藤は3周目に3番手に後退するが4台の2番手争いの中でポジションアップを狙う。5周目に山本はコースレコードラップタイムを記録し、その後毎周1秒以上引き離していく。兵藤は8周目終了時点で2番手に上がるが、9周目1コーナーで3番手。裏ストレート後の馬の背進入で4番手に後退。しかし、この周に兵藤のベストラップが記録される。最終ラップ、山本は危なげなく後続を9.4秒引き離し優勝を決める。一方、兵藤は最終シケインから立ち上がりのスピードがのせられるようにラインとレースするが、コントロールラインまでに抜くことが出来ずに4位でゴールする。

【ライダー 山本剛大選手 コメント】

予選 1位

前日の夜に降っていた雨が朝には止んでいてフルウェット路面から徐々に乾いていく展開となりました。初日にウェットで転倒しているのを見ながらゆっくりとペースを上げていきました。50秒台までペースアップをしたところでピットインをし、タイム差もあったのでアタックを止めて、若干出していたトラブルを治すことに専念しました。最終的にトラブルを解消でき更にタイムアップして予選を終えました。

決勝 1位

決勝はウィークで初の完全なドライコンディションになりました。スタートは成功してホールショットを決めて1周目からペースをどんどん上げていき後続を引き離していきました。2周目には既に2.5秒差をつけることが出来、そのままペースを落とすことなく攻めていきました。

レース中盤にはマシンに問題が出てしまい、これ以上ペースを上げられない状況になりましたが、それでも45秒台をキープ出来ていたのが最終的には9.4秒差をつけて独走で優勝できました。

事前テストなし、ウィークでもトラブルが出てしまい、なかなか走行時間が取れない中で独走で優勝することが出来て良かったです。次戦はARRC AP250インドネシアラウンドになりますが、今回同様優勝出来るように頑張ります。

何時も応援して頂いている、スポンサー様・ファンの皆様、そしてチームスタッフに感謝しています。ありがとうございます。



【ライダー 兵藤龍之介選手 コメント】

予選

路面は、初めはウェットで後半ハーフウェットと言う感じで、とても微妙な路面でした。最初は、なかなかタイムを上げることが出来ませんでした。3周目ぐらいから路面が少しずつ乾いてきたので、そこからコーナリングスピードやブレーキングポイントを奥に変えて、少しずつタイムを縮めていき単独で2番手タイムを出す事が出来ました。

そこから一度ピットインし、フロントサスペンションのイニシャルをかけて、もう一度スタートしたのですがクリアラップを取る事ができず、自己ベスト更新は出来ませんでした。結果予選2位で終了しました。

決勝

路面も完全にドライで、気温も上がり始めていてとてもいい感じのコンディションでした。

スタートはまずまずで、そのまま2位で、1コーナーを曲がりトップについて行こうとしたのですが、前半セクションで、じわじわと離されていき、単独で2番手を走っていたのですが、なかなかペースが上げきれず、4周目に集団にのみ込まれてしまい、2位争いの4台の集団になりました。

何度か2番手に上がることがあったのですが、残り3周ぐらいからフロントが切れ込みだして、ついて行くので精一杯でした。最終ラップにハイポイントコーナーで転びそうになり少し離されてしまいました。

後半セクションで少し追いついたのですが、スリップにつけきれず4位でした。

とても悔しかったです。前戦の筑波と比べるとだいぶ良くなったので、次のモテギまでに新しく出来た課題をクリアして、次こそしっかりと優勝できるように頑張ります！

最後に応援して下さったファンの方、チームの方、スポンサー様本当にありがとうございました。





TRICK STAR

【ライダー 藤村太磯選手 コメント】

今回は約1ヶ月前のSUGO地方選手権以来のレースとなりました。レース前日の練習走行ではウェット路面の中、SPインコーナーの立ち上がりでミスをしてしまい転倒しました。約1ヶ月ぶりの走行でコースの感触をしっかりと確認しなければならない時だったので大切な走行時間を棒に振ってしまいました。

最後の枠はドライ路面で走行する事ができ、マシンチェックを行いました。特に気になるような挙動は無かったので安心しましたが、時間の都合で本来のドライセッティングで走る事が出来ませんでした。

予選は前日からの影響でウェット路面でのアタックとなりました。天候は曇りでしたので、チェッカーを受ける直前でタイムを出すために毎周徐々にタイムを詰めていくように心がけて走行しました。想像通り路面は走行を重ねる度に良くなっていき、レコードライン上は所々乾き始めるコンディションとなりました。10周目に出したタイムがベストタイムでした。元々ハーフウェット路面に対して苦手意識があり、トップタイムから3秒以上離されてしまい厳しい結果となりました。これからの課題です。

決勝は完全にドライ路面です。とにかく追いつけるレースをしようと思い、臨みました。スタートは上手く決まらず1コーナーの位置取りが悪く、順位を落としてしまいました。その後も混雑の中、パッシングを決めきれず1周目を終えてしまいました。2周目は他車のペースに付いていくのが精一杯で本来の自分の走りと程遠いものでした。歯がゆい気持ちの中で走行中、3周目の1、2コーナーでミスがあり3コーナーに進入する時に他車にインに入られ、気づいた時には接触しており、なす術なく転倒しました。ハンドルとステップに損傷があり再復帰できずリタイヤとなりました。

今回のレースは本当に全てが噛み合わず、ふがいない結果となってしまい反省しています。チームの皆さんには、レース前もレースウィーク中も夜遅くまで整備に付き合ってもらいましたし、コースオフィシャルの皆さんには2度も転倒をして仕事を増やしてしまいました。すべて自分の責任です。マシンはよく走っていましたが、多くの方から励ましの声も頂きました。皆さんの期待に答えられる結果を出せず悔しいです。レースを終えて沢山の反省点が見つかりました。その全てを1つ1つクリアし、次戦もてぎに向けて最高の状態で望めるように努力します。そしてレースに対する取り組み方を変えます。次回レースは8月20日です。もう2ヶ月を過ぎました。残りのレースは今回の反省をいかして良いレースをし、ポイントを挽回していきます。チーム、スポンサー、関係者の皆様、応援頂いた皆様に感謝しています。これからも応援よろしくお願いたします。

